

教育委員会点検・評価報告書
(平成30年度)

令和元年6月

勝山市教育委員会

1 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が平成19年6月に改正され、平成20年4月1日から施行されました。

これを受け、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆さんへの説明責任を果たしていく為に行うものです。

なお、具体的な点検及び評価項目や報告書の様式、議会への報告、公表の方法などについては、国が基準を定めるのではなく、各教育委員会が実情を踏まえて行うこととされています。

2 点検・評価の方法及び経緯

(1) 平成30年6月定例教育委員会（5月31日開催）

対象項目を協議するとともに、点検・評価表の素案について協議しました。

(2) 平成30年7月定例教育委員会（7月5日開催）

対象項目を協議するとともに、点検・評価表の素案について協議しました。点検・評価の対象項目を下記3のとおり決定するとともに、点検・評価の方法及び評価例を下記4、5のとおり決定しました。

(3) 平成30年11月定例教育委員会（11月3日開催）

点検・評価の中間取組状況、中間時点の課題等について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

(4) 令和元年年5月定例教育委員会（5月9日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

(5) 令和元年6月定例教育委員会（6月6日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

3 対象項目

(1) 平成30年度勝山市全体の政策（基本目標管理）評価のうち教育委員会関係

(2) 平成30年4月定例教育委員会協議事項の「各課の重要課題と取組方針」

※(2)が(1)に包含される場合は(1)の項目で、包含されない場合は適当な項目を付し対象項目としました。その結果、17項目が評価の対象となりました。

4 方法

(1) 対象項目ごとに点検・評価表の作成とともに、まず担当課による自己点検・自己評価を求めました。次に、教育部内の横断的な観点も含め教育委員会部局課長による相互点検・評価を求めました。

(2) 上記(1)を参考資料として教育委員会ヒアリングを実施し、教育委員会（委員5名の合議体）による最終の点検・評価を行いました。

5 評価例

取組目標に対する達成状況を基準にして評価対象の難易度を勘案し、最終的に教育委員会が次の基準（5～1）に沿って行いました。また、特に評価の過程で点検・論議された課題等について、必要に応じて記載しました。

5	十分な成果があった
4	かなりの成果があった
3	最低限の成果はあった
2	あまり成果がなかった
1	まったく成果がなかった

6 点検・評価にあたって

評点は、難易度を斟酌して付しています。また、課題等は、次年度の目標設定におけるフィードバックを念頭に置き、論議した事項を記載しました。

以上の点検・評価の結果は、各評価対象項目における主な取組内容、評点及び課題等にして一覧表にとりまとめました。

7 おわりに

この制度は、教育委員会が自らの仕事の点検・評価を行い、住民の代表である議会に報告することで、説明責任を果たそうとするものです。法改正に伴い取り組んでいますが、どの作業も試行錯誤の中で行っており、今後、市議会をはじめ市民の皆様方のご意見を参考に、点検・評価の方法や時期等について見直しを重ねる中で、この制度をより良いものにしていきたいと考えています。

また、今回の報告にあわせて教育委員会の構成と教育委員の任期並びに教育委員会の開催回数と内容等についても、添付させていただきました。

平成30年度勝山市教育委員会の点検・評価表

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
1	教育環境の整備・充実1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度の早い時期に答申をいただき、「勝山市立中学校再編計画」(案)をまとめていく。 ・勝山中部幼稚園の建物の今後の利用について、検討していく。
	<ol style="list-style-type: none"> 1 中学校再編については、年度内に5回の検討委員会を開催したが、答申を得るまでに至らなかった。 細野分校の解体工事は、12月中に完了した。 2 「幼稚園統合計画」を決定し、勝山中部幼稚園を廃園、成器南幼稚園に統合することとした。統合計画に基づき、成器南幼稚園の園舎施設改修、新年度園児募集事務を行った。 3 中学校の給食調理について業者委託できないか協議を進めている。 小学校給食調理員は、嘱託職員を雇用することで補充した。 		
2	教育環境の整備・充実2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校改修工事や小中学校教室へのICT機器の充実については、今後も計画的に実施していく必要がある。 ・学校敷地の賃貸借契約については、税方式での契約更新について理解を得られていない部分がある。市の考え方を整理して、早急に地権者と交渉していく必要がある。更新時期未到来の学校敷地も含めて、検討が必要である。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校改修工事等 日常及び災害時の安全点検をもとに、施設修繕を行うと共に計画的な維持管理を行っている。災害に関連する緊急な対応が多かったが、台風による倒木処理など適切に行った。 2. 小中学校教室へのICT機器の充実 所期の計画のとおり実施した。 3. 勝山市公共施設用地地代調査委員会の基本方針に基づき、契約内容を再確認し、更新手続きを進め、地代の均衡を図る。 ・他の学校敷地について、理解を得られていない部分も含めて、検討をしなければならない。 		

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
3	心豊かでたくましい児童・生徒を育てる学校教育の充実	4	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領全面実施に向けての授業改善・年間指導計画などの準備。 ・学校教育活動全体でのE S Dの実施。 ・英語教育強化地域拠点事業で培った高いレベルの外国語活動・英語科の実践の継続。 ・いじめ、不登校における未然防止の継続的な取組。 ・よりよい生活リズムの習慣化とネットトラブル防止および情報モラル向上のための保護者や地域を巻き込んだ取組の実施。 ・幼小接続、小中高連携の推進。 ・働き方改革の推進。
	<p>1. 「楽しく分かる授業」の推進と、支援を要する児童生徒に対する個に応じた丁寧な教育の充実</p> <p>① 学力向上研修会の実施と各校での伝達講習。授業づくりについての研修を行った。10/21 は全国学力・学習状況調査の結果をもとに、小学校は国語科・算数科、中学校は国語科・数学科。2/21 はSASAの結果をもとに、小学校は社会科・算数科、中学校は英語科・数学科。</p> <p>② 後期学校訪問（10/11～11/22）における授業研究の推進。 10/11 村岡小（算数科）、10/18 成器南小（外国語科）、10/24 北郷小（国語科） 10/29 勝山南部中（英語科）、10/30 平泉寺小（外国語科）、10/31 三室小（道徳科）、11/1 荒土小（算数科）、11/12 勝山中部中（英語科）、11/15 鹿谷小（外国語科）、11/16 成器西小（算数科）、11/20 勝山北部中（英語科）、11/22 野向小（外国語科）</p> <p>③ 全小中学校に国語・算数数学・理科・社会・外国語活動、英語のデジタル教科書や教材を配置し、教材研究や授業改善に活用。デジタル教科書を1週間に3日以上使用する教員は78%。うち、毎日使用する教員は52%。</p> <p>④ 授業改善に対する意識の向上と、全授業日におけるICT機器等活用した日数の割合の算出による意識付けの結果、市全体としては、全授業日の87%の使用率となった。</p> <p>⑤ 全国学力・学習状況調査、SASAの結果をもとに、子どものつまずきの見とり方とその生かし方など、県教育総合研究所の所員から指導受けながら、その生かし方などを研修。(10/12、2/21)</p> <p>⑥ 学期ごとに学校生活アンケートを実施し、教務主任会で分析、授業改善に活用。「授業は分かりやすい」→小5：1.43ポイント(前年度1.45ポイント)、中2：1.08ポイント(前年度1.04ポイント)と児童生徒からの高い評価が継続している。</p> <p>2. ユネスコスクールとして、環境教育、E S D（持続発展可能教育）の推進および小中高の連携を重視した先進的な英語教育の取組</p> <p>① ユネスコスクール（E S Dの拠点校）として各教科指導と総合的な学習との関連付けを図り、各校のE S Dカレンダーをもとに、「調べる」「考える」「まとめる」「再構成する」「表現する」「発信する」場を意識した実践を行った。</p>		

No.	評価対象項目 主な取組内容	評点	課題等
3	<p>② 各校の地域環境や特色に合わせた質の高いESDプログラムについて、情報交換をするため、担当者会(12/26)において、各校の実践についての情報共有、北陸ESDコンソーシアムから先生を招いて講演、全国大会の報告会、これからのESDについての意見交換を行った。</p> <p>③ ユネスコスクール全国大会に、市内4校から教員1名が参加。(12/8 横浜市)</p> <p>④ 全小中学校で、大学教授・県教委の指導を受けながら英語授業案の事前検討会および英語公開授業の実施。</p> <p>⑤ 小学校外国語教育指導者養成研修(平成30年度小学校における外国語教育指導者養成研修)での授業公開。(2/27 成器西小、村岡小)</p> <p>3. 健全な人間性、人の痛みを理解し人を思いやる心情の涵養。</p> <p>① 基本的な生活習慣確立に向けて学校だより、学年学級だより、保護者会等を通じた家庭、地域への啓蒙活動を継続的に実施。</p> <p>② 「くらしの礼儀作法」「かつやまっ子応援プラン・6つのルール」を学校生活の中で活用・実践。「明るく元気にあいさつしている」→小5:1.55ポイント(前年度1.44ポイント)、中2:1.34ポイント(前年度1.46ポイント)</p> <p>③ 全小中学校における道徳授業の公開(授業参観日等)といじめや人権問題を扱った授業、いじめアンケートや教育相談の定期的な実施。</p> <p>④ 学校訪問時における道徳の授業公開。</p> <p>⑤ ボランティア活動の実施。 地域への行事参加への働きかけ。「地区の行事によく参加している」→小5:1.45(前年度1.50)、中2:0.63(0.76)。ボランティア手帳である「ESDパスポート」の活用。 (勝山南部中、村岡小、成器南小、鹿谷小)</p> <p>4. 体験活動を通したたくましさ、好奇心、チャレンジする心情の醸成</p> <p>① 各校の年間指導計画により、体験活動の計画的な実施。わくわく合宿の実施。(北郷小わくわく合宿通学10/25~10/27)</p> <p>② 県の助成を受けた「地域と進める体験活動」の推進。市内全小中学校が参加。</p> <p>③ 豊かな自然体験活動(かつやまっ子ジオキャンプ)実行委員会にて、本年度の反省と次年度への申し送り。</p>	4	

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
3	<p>5. 勝山の歴史・文化・産業・自然環境の学習を通じた、ふるさとへの誇りと愛着心の醸成</p> <p>① 全小中学校が環境教育・ふるさと学習を柱としてE S Dを推進。</p> <p>② 地元企業、関係機関と連携した「地域に学ぶ14歳の挑戦」の実施。 (10/10～10/12)</p> <p>③ ジオパーク・まちづくり課の支援を受けたジオパーク体験学習の推進。 市内小中学校ジオパーク学習(9回)・・・滝波川上流探検、大師山登山、北谷野外博物館見学など</p> <p>④ 地域素材を題材にした教科学習の推進…池ヶ原湿原、まほろば、ゆめおーれ、旧木下家住宅、遅羽公民館、村岡山などでの活動</p> <p>⑤ 生涯学習課の支援を受けた行事の実施 かつやまこども恐竜LABO 5/26 発足式、6/16, 7/29, 8/13, 10/14, 11/11, 12/9, 1/19, 3/2, 3/16, 3/24 修了式</p> <p>6. 調和のとれた体位・体力の向上と、心と体の健康増進</p> <p>① 体育授業の積極的な公開と授業力向上、スポーツ大好きふくいっ子事業による実技指導者派遣、スポーツ体験教室の実施。</p> <p>② 小学校における業間体育や中学校部活動等も含めた持久力向上への取組推進。</p> <p>③ 食育の推進。(総合的な学習の時間、保健体育授業および給食への栄養教諭等巡回時に指導)</p> <p>④ 部活動での外部指導者活用の推進。</p> <p>⑤ 薬物乱用防止教室の実施(全小中学校)。</p> <p>7. 情報モラル教育、情報リテラシー教育の推進</p> <p>① 各校スマートルールを活用した指導の実施。(全小中学校)</p> <p>② ひまわり教室や通信業者が実施する生徒向け講演会等の実施。</p> <p>③ 学校だより等を通じた各家庭への周知、協力依頼。(全小中学校)</p> <p>④ 保護者との連携強化および保護者会等での道徳の授業公開、情報モラル等に関する研修会・講演会等の実施。(全小中学校)</p> <p>⑤ 福井県民安全課から発行される情報モラルやネット犯罪等に関するおたよりの活用推進。(全小中学校)</p>	4	

No.	評価対象項目 主な取組内容	評点	課題等
3	<p>8. 「福井型18年教育」に基づく保・幼・小・中・高の交流・連携・接続の推進と、より効果的な教育の実現および不登校の未然防止</p> <p>① 保育所・認定こども園・幼稚園・小学校が連携し、連絡協議会や交流活動を実施。(2/1)</p> <p>② 中学校・高等学校連絡協議会を通じた連携の推進。(11/22、1/30)</p> <p>③ 後期学校訪問および英語授業公開時(10/11～11/22)に小・中学校教諭が互いに授業を参観。研究会にて意見交流。</p> <p>④ ESD担当者連絡会協議会にて小中の意見交流と連携推進。(12/26)</p> <p>⑤ 不登校の未然防止に向けた気付き児童生徒の情報共有と、さわやか教室との連携。</p> <p>⑥ 不登校の未然防止に向けた4観点によりアンケートの実施とPDCAシートの作成と次年度への引継ぎ。</p> <p>⑦ 個別指導として気付き児童生徒の情報共有と、さわやか教室との連携。</p> <p>⑧ 小・中のスムーズな接続に向けた中学校説明会や中学校体験入学の実施。(2月) 教員対象の各種研修会実施・参加。(11/2 きめ細かな生徒理解のための合同研修会)</p> <p>9. 児童生徒が誇りに思う開かれた特色ある学校づくりの推進</p> <p>① 地域諸行事への参加・参画の推進。→学校生活アンケート「地区の行事によく参加している」小5:1.45ポイント(前年度1.50ポイント)中2:0.63ポイント(前年度0.76ポイント)</p> <p>② 全幼小中学校で家庭・地域・学校協議会を設置し、年間3回程度実施。</p> <p>③ 学校教育の自己点検・自己評価および学校評価書の作成。小中学校ごとに2学期末に行い、3学期に分析、次年度の計画</p> <p>④ 地域コーディネーターやゲストティーチャーなど外部人材の活用による出前授業の実施。</p> <p>⑤ 防災避難訓練の実施(勝山中部中 11/22, 2/1) 不審者避難訓練の実施(成器南小 11/22) 児童生徒受け渡し訓練の実施(北郷小 10/16, 村岡小 11/7, 鹿谷小 10/30, 平泉寺小 11/13)</p>	4	

No.	評価対象項目 主な取組内容	評点	課題等
4	<p>「生きる力」を育む市民活動の展開</p> <p>1. 青少年健全育成推進事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●青少年育成勝山市民会議への委託事業 <ul style="list-style-type: none"> ①各地区かつやまっ子応援ネットワークからの申請…9地区より19事業 ②各種団体からの申請…12団体（内、新規3団体） ③家族イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・11/10 市民総合大学と共催「家族でおもちゃを作ろう！」 42人参加 県生涯学習センター共催により福井工業高等専門学校教諭を講師に招き開催。 ろうそくの火でポンポン進む「ポンポン蒸気船」やカックンカックンと動くレンゲで作る「水飲み鳥」の工作教室を行った。 ・12/2 勝山市日中友好協会と共催で「二胡とギターでにこにこミニコンサート」47人参加 第1部:身近な材料で弦楽器づくりを体験 第2部:Acoustic Duo 2storingsによる二胡とギターのコンサートを行った。 ④奥越合同ブロック研修会 1/28 臨床心理士岡本克巳氏から、若者のこころのSOSをキャッチする方法などについて講演を聴いた。 ⑤広報紙「かつやまっ子応援ニュース」第15号及び第16号の発行 ⑥かつやまっ子応援ネットワーク全体会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成啓発事業「家族からもらったいい言葉」の最優秀作品3点及び有終作品15点の入賞者を表彰 ・H30年度青少年健全育成推進事業の報告 ・H30年度に実施した各地区応援ネットワーク及び各種団体の事業発表 ●かつやまこども恐竜LABOの活動実績について かつやまこども恐竜LABO育成会が「子どもゆめ基金」の助成金を活用して11回の学習会を開催した。後半の内容は次のとおり <ul style="list-style-type: none"> ・11/11 恐竜砂絵及び恐竜折り紙の体験（NPO法人恐竜のまち勝山応援隊） ・12/9 恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク学習（ジオパーク専門員） ・1/19 恐竜化石レプリカ作製（勝山恐竜研究会） 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成推進事業のうち、各種団体への助成件数が低迷（15件中12件）している。関係団体への周知を図り、青少年の地域での交流事業に活用してもらおう。

No.	評価対象項目 主な取組内容	評点	課題等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3/2 恐竜 LABO 新聞作成 (1 年間の活動を各自新聞としてまとめる) ・ 3/24 LABO 修了式 (修了証書授与、恐竜 LABO 新聞の掲示) <p>● 「かつやまっ子応援プラン」のアンケート調査結果を分析・考察し、次のとおり見直しを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「6 つのルール」の一部を見直すとともに、ふるさとの魅力をよく知り広く世界を知る目を養うという項目を増やし「7 つのルール」に改定した。 ・ 「7 つのルール」に基づき、今後、青少年育成勝山市民会議やかつやまっ子応援ネットワーク等が取り組む方針を示した。 ・ 上記の内容は、2/19 青少年問題協議会、3/22 市議会全員協議会、3/25 かつやまっ子応援ネットワーク全体会に説明し周知を図った。H31 年度以降も青少年育成勝山市民会議や校長会、公民館へも周知する予定である。 <p>2. 子ども達が豊かな自然や生活文化に触れることができる体験学習の実施 学校や子ども会育成連絡協議会と連携し下記の事業を実施する。</p> <p>①小浜市との交流事業 小浜市・勝山市両市 6 年生 18 名参加 2/16～17 スキージャム勝山でのスキー体験、北谷町小原での雪国体験 (かんじき体験、かまくら作り) 及び餅つき体験 (五平餅づくり)、昔の暮らし体験 (囲炉裏) を通じて交流した。</p> <p>②市子ども会育成連絡協議会の取組 ・ 9/18～11/27 計 20 回 かるた練習会 (勝山市かるた愛好会指導) ・ 12/2 第 49 回子ども会対抗親善かるた大会 (11 チーム 36 人参加)</p> <p>3. 子どもの見守り活動の推進 学校の登下校時の見守り活動が主であるが、後半は次の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成器西校及び成器南校では勝山警察署の署員を講師に招き防犯講習会を開催 ・ 荒土小では感謝のつどいを開催し見守り隊と給食を食べながら交流を図った。 ・ 平泉寺小では 2 月に「逃走中」と題して、鬼を不審者に仕立て子どもが鬼につかまると防犯ブザーを鳴らすといった遊び心を取り入れた取り組みを行った。 	4	

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
5	学習機会と施設の充実	4	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育主事等講習規程が令和2年度から改正されるため、福井大学や金沢大学での講習内容や日程等を注視し対応を検討する。 ・公民館職員の嘱託化が進む中、嘱託職員に対し適正な事務の推進や市役所職員としての自覚や法令遵守等について指導する。
	<p>1. 公民館職員の嘱託化について</p> <p>①令和元年度採用の嘱託館長1名（鹿谷）及び嘱託主事5名（平泉寺、遅羽、村岡、荒土、北郷）を募集しそれぞれに配置した。</p> <p>②H29年度採用の嘱託主事2名が社会教育主事講習（福井大学履修証明プログラム）受講し資格取得に向けて取り組んだ。</p> <p>③公民館嘱託職員採用面接審査会において、これまで該当公民館の地区の公運審や区長を面接者に委嘱していたが、公平・公正の観点から市幹部職員のみで審査することに改めた。</p> <p>2. 北谷公民館の指定管理について</p> <p>①H30年度末で指定管理期間が終了となるため、指定管理者であるNPO法人きただに村や北谷公民館運営審議会と意見交換を行った。12月補正予算に債務負担行為の額を計上し、公募によらない方法で申請書を受理し審査を行い、3月議会において指定管理者の指定の議決を得てNPO法人きただに村と基本協定書を締結した。指定管理期間は令和元年度から2年間。</p> <p>②NPO法人きただに村に対する指定管理は北谷町コミュニティセンターと2本立てになるため、引き続き一体化できないか検討することとなった。</p> <p>3. 生涯学習の機会提供と学習内容の充実</p> <p>①勝山市民総合大学 H30実施状況：講座数77件 のべ375回 のべ受講者数4,576名 （H29実施状況：講座数88件 のべ402回 のべ受講者数5,274名） 令和元年度前期講座の企画をまとめ、パンフレットを作成し3/28に全戸配布し受講者を募った。 3/25市民総合大学学位認定式を行い、規程の単位を修得した受講者に学位認定書を授与した。（博士2名、修士5名、学士17名）</p> <p>②勝山市生涯学習人材バンク 人材バンク登録者 56名（内H30新規登録5名） 人材バンク利用申請 12団体20件</p>		

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
5	<p>公民館や生涯学習センターを通じて地区団体へ利用を呼び掛けた。</p> <p>③さわやか大学 受講者：ふるさと学科 86名 生きがいと健康づくり学科 66名 計 152名 H30 実施状況：月 2～3 回計 46 講座、内 10 回は一般市民も参加できる公開講座を開催し、一部は市民総合大学や県生涯学習センターとの共催で実施した。</p> <p>④公民館学級 各公民館において座学に限らず屋外での体験等も取り入れ、老若男女を対象に地域の特色やニーズを考慮しながら学級を企画運営した。 H30 実施状況：講座数 166 件 のべ受講者数 3,533 人 (H29 実施状況：講座数 157 件 のべ受講者数 3,327 人) 後半の主な活動内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク関係 星空観察会（野向）、ジオパーク専門員による学習会（野向）、ジオパークで取り組む SDG s（荒土） ・くらしの礼儀作法関係 礼儀作法とお茶教室（茶道を通じての礼儀作法を学ぶ 村岡・鹿谷） ・国際交流関係 国際交流員を講師に招き、バレンタインチョコレート作りとアメリカのバレンタインデーのお話を聞いた。（荒土） <p>4. 各種団体への活動支援について 主に下記の団体活動の支援を行った。後半の主な活動は次のとおり。</p> <p>①勝山市青年団体連絡会 ・ 12/24 サンタの宅配便 クリスマスイブの夜、青团連会員がサンタクロースやトナカイに扮し、事前に保護者から予約のあった世帯に出向き、子ども達にプレゼントを届けた。6 家族子ども 11 名対象</p> <p>②勝山子ども会育成連絡協議会 ・ 10/27～28 4 市町子ども会交流会（おおい町） ・ 12/2 第 49 回子ども会対抗親善かるた大会 11 チーム 36 名参加</p>	4	

No.	評価対象項目	評点	課題等
5	<p style="text-align: center;">主な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市子連ニュース」(広報紙)の発行 ③勝山市壮年連絡協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・12/2 ソフトバレーボール大会 市内壮年会 16 チーム約 100 名参加 ・「市壮連協だより」(広報紙)の発行 ④明日の勝山を築く市民運動推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・4/24 地域づくりリーダー研修会 元観光ボランティア伊藤俊一氏を招き、観光ボランティアのまちづくりについて話を聞いた。 ・12/8 ふるさと交流会 七瀬すこっぱーず(福井市東郷)によるアトラクション、かき餅つるとお正月用リースづくりの体験、ふるさと料理試食会を開催した。73名参加 ・あすの福井県を創る協会からの助成事業「まちづくり応援事業助成金」を活用して、北郷町まちづくり協議会(ホテルのさと景観向上と畝見川の清掃活動)、猪野瀬まちづくり推進協議会(住民の健康づくりと大師山観察会)、遅羽住民協議会(福井国体に向けて花で道路や自宅玄関をかざる取組)がそれぞれの活動を行った。 ⑤成人式実行委員会(H31年1/13 勝山市成人のつどい) <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員11名が計11回の実行委員会を通してアトラクションの企画立案から当日の運営までを行った。テーマは「勝山歴史～新たなページを彩ろう～」とし、新成人が生まれた平成10年から現在に至るまでの勝山市や国内外で起こった出来事をパワーポイントで紹介しながら、ふるさと勝山への愛着を改めて持ってもらう内容にまとめた。新成人の出席者:200名 参加率87% <p>5. 公民館及び市民会館の施設改修について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公民館 <ul style="list-style-type: none"> 村岡公民館自転車小屋設置工事完了 原材料費を活用して、各公民館の小規模修繕(車庫の屋根や壁のペンキ塗り、棚や椅子づくり、雪囲いなど)を職員で協力して行った。 ②市民会館 <ul style="list-style-type: none"> 空調設備(暖房用ボイラー)改修工事完了 空気調和機の故障により、冷房機能も低下しているため改修工事実施設計業務委託を発注した。工法等について庁内関係課で協議し、来年度に向けてのエアコン等空調設備改修工事の事務を進めた。 	4	

No.	評価対象項目 主な取組内容	評点	課題等
5	<p>6. 生涯学習センター友楽喜の今後の計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の政策ヒアリングにおいて、勝山市公共施設等総合管理計画に基づき生涯学習センターの機能を市民会館や教育会館等へ移転し集約化を図る方向で進めることで方針が決まった。令和2年度を目途に移転準備を進めることとした。 ・12月議会の総務文教厚生委員会及び全員協議会において議員に説明し方向性については了解を得ることができた。 ・2/13 生涯学習センター友楽喜運営審議会において説明。 	4	
6	<p>文化芸術活動の振興</p> <p>1. 郷土芸能施設の整備充実</p> <p>① (公財) 明治安田クオリティオブライフ財団からの令和元年度伝統文化保存維持に関する助成事業について、各公民館を通じて情報提供し2件(高尾山音頭、大日太鼓)の応募があり申請したが、採択に至らなかった。また、日本芸術文化振興会からの民俗文化財の保存活用活動に関する助成事業について、谷はやし込み保存会から応募があり申請したが、採択に至らなかった</p> <p>②文化庁の令和元年度伝統親子教室事業(地域展開型)委託事業について、各公民館を通じて情報提供したところ、野向公民館から提案書(野向町伝統文化体験事業)の提出があり文化庁へ申請したところ選考の結果、決定した。令和元年度6月補正予算に事業費を計上する予定。</p> <p>2. 伝統文化の継承</p> <p>後半の取組状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民総合大学：市学芸員による「勝山の歴史」講座4回 63名受講 伝承料理2回(鮭のなれずし、味噌づくり)59名受講 ・さわやか大学：市学芸員、市史編纂室職員、市文化財保護委員、県図書館職員による文化と歴史の講座 7回 ・公民館学級：昔遊び体験 かるた、駒、おはじき等(猪野瀬)25名参加 ：明治・大正の北谷村 仏閣、学校の歴史について(北谷)60名 ：伝承料理の紹介と講習、試食会(北谷)18名参加 ：地域交流さぎっちょまつり(野向)60名参加 ：干し柿づくり教室(鹿谷)12名参加 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山市民総合文化祭の参加団体・個人は昨年より若干増加したが、高齢化により舞台準備の動員が年々対応できなくなっていることや集客についても少ないことが課題になっているため、実行委員会において対応策を検討したい。 ・市文化協会の活動の活性化に向けた取り組みを検討したい。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
6	<p>：鯖のなれずし講習会 3 回、ニシン大根づくり教室 2 回（遅羽） 53 名 ：市学芸員による歴史講座 2 回（北郷、遅羽） 20 名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明日の勝山を築く市民運動推進協議会 ふるさと交流会 伝承料理（5 種）試食会 73 名参加 <p>3. 文化芸術活動への支援 後半の取組状況について</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「文協かつ山第 50 号」の発刊に向けて編集部会を開催し、加盟団体や個人の原稿をまとめ 3 月末に発刊した。 ②青少年の文化芸術活動について、青少年育成勝山市民会議が 12/2 勝山市日中友好協会と共催で「二胡とギターでにこにこミニコンサート」を開催し、子ども達が中国の音楽や文化に触れることができた。 ③3/3 市内の若手ピアニスト花田佳奈氏がピアノリサイタルを開催するにあたり後援した。 ④令和元年度文化講演会・芸術劇場の開催に向けて、宝くじ文化公演事業の助成申請を行ったが、採択に至らなかった。 ⑤文化振興等に関する全国大会出場に対する激励として、「第 49 回全国小・中学校競技かるた選手権大会」の出場者小学生 5 名に激励費を交付した。 	3	
7	<p>国際交流の推進</p> <p>1. 国際交流員（CIR）の活動の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人の英会話教室 4～3 月 39 回開催 のべ 366 名参加（平均 9.4 名参加） ・日本語学習広場 4～3 月 21 回開催 のべ 133 名参加（平均 6.3 名参加） 中国人、アメリカ人、ロシア人が参加 日本語初級者には国際交流員のほか、中国語通訳助手も配置し支援した。 ・小学校訪問 1～3 学期訪問計 39 回実施 1～2 年生対象 自己紹介の方法をはじめ、アメリカの歌やゲームなどを通して英語やアメリカの生活文化に親しんでもらった。 ・国際交流サロン（国際交流員の活動） 市民総合大学：2/1「インドの文化に触れるひととき」と題して、国際交流員がインド料理や歌、ダンスなどインドの生活文化について講義を行った。13 名参加 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ハワイ青少年交流は例年 3 月下旬に実施してきたが、モアナルア LC の要望により来年度から時期を変更することになったため、関係機関等と協議し早急に日程等を調整する必要がある。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
7	<p>さわやか大学：2/12 多文化共生について 図書館：2/16 バイリンガルおはなし会 英語と日本語の読み聞かせ ・国際交流事業（勝山市日中友好協会の活動支援） 12/2 二胡とギターでにこにこミニコンサート（共催 青少年育成勝山市民会議） 2/2 中国春節イベント2019 食・動・着・歌・考・覚・遊のブースに分け、子ども達が中国の文化や風習を体験し市内在住の中国人の方との交流も図った。16名市民総合大学において中国語入門講座を計16回開催した。47名参加</p> <p>2. 青少年交流事業について 勝山市青少年国際交流連絡協議会や勝山ライオンズクラブ及びハワイモアナライオンズクラブの協力を得て、ハワイオアフ島へ中高生13名を派遣した。後半の活動は次のとおり。 11/17 第4回：福井大学語学センターでの研修 12/18 第5回：マッキンリーハイスクールとの交流 英会話学習 1/15 第6回：マッキンリーハイスクールでの発表練習 英会話学習 2/19 第7回：旅行会社からの海外渡航に関する説明 発表練習 3/14 第8回： // 3/19 結団式 3/26～3/31 4泊6日ハワイ州オアフ島ホノルル市内を中心に活動 4/4 第9回：班別行動のまとめ、報告会練習 4/18 第10回： // 4/23 ハワイ青少年交流事業報告会 参加者が3班に分かれ交流活動等を発表。</p>	4	
8	<p>図書館機能の充実</p> <p>1. 子ども読書活動推進計画関連事業の推進 ①ブックスタート事業について 基本的に定例日（毎月第3木曜日）開催、または土日祝日の個別対応。 平成30年4月～平成31年3月末参加者：101組（うち定例外参加：22組） 関連行事「赤ちゃんとえほんの日」の告知も行う。（H30.4月～H31.3月の参加：24組）</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートの定例日以外の個別対応は、職員が電話をかけて日程調整しているが、保護者と直接話せる機会が少なく、伝言では趣旨が伝わりにくい。 ・参加期限を多く残しての転出や、参加期限終了間際の転入などで参加できない赤ちゃんがいる。 ・電話番号が登録されていないため直接確認できない人がいる。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
8	<p>②学校図書館への支援 第1期事業（バーコードの貼付と図書情報のデータ化）と第2期事業（背ラベルの貼り替えと図書の配置換え）を終えている中部中校区（勝山中部中、成器西小、野向小、村岡小）において、パソコンによる図書管理システムへの移行を開始した。これにより、図書の貸出、返却をパソコンで管理できるようになった。（村岡小の第2期事業は、今年度終了した。）また、北部中校区の勝山北部中、鹿谷小の第2期事業を終了した。</p> <p>2. 市民ニーズに対応した図書の充実と図書館ネットワークの推進</p> <p>①年中行事や時事的な話題を反映した特集コーナーを設け、図書の企画展示を行い、季節ごとに変わる市民の読書ニーズに対応し、利用促進を図った。平成30年4月から平成31年3月においては28件のテーマで企画展示を行った。</p> <p>②白山信仰、平泉寺、恐竜化石等勝山市に関連する図書を随時収集し充実を図っている。 H30.4～H31.3末実績（寄贈・購入）白山信仰・平泉寺11冊、恐竜関係53冊</p> <p>③リクエストを受けた図書が勝山市には無いが、他市町の図書館に所蔵がある場合は、積極的に図書館相互貸借ネットワークを利用している。 H30.4～H31.3末実績 借受件数1,322冊、貸出冊数291冊 （対前年度比（H29.4～H30.3末）借受件数1,469冊、貸出冊数214冊）</p> <p>3. 公民館や学校への支援</p> <p>①積極的な図書資料の活用を奨励している。公民館の図書整備について、各公民館に出向き手にとってもらえる図書の並べ方、廃棄方法等について助言した。 H30.4～H31.3末 団体貸出利用公民館数9館 利用回数（全館合計）87回 団体貸出冊数（全館合計）1,458冊（H29:1,638冊）</p> <p>②先生方の依頼を受け、小学校の学習に関連した図書等の団体貸出を行っている。クラス単位または学年単位、学校単位での団体貸出を行っている。また、小学生の学年別及び中学生に対して「おすすめの本リスト」を配布するなど、推奨図書の情報提供を行った。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援、北部中学校校下は、既存の図書管理システムが導入されているが、新しいパソコンOSに対応できないため、既存のデータやバーコードも使用できず、本の登録等を全て最初から行わなければならない。 ゆめおーれ勝山との連携、施設の相互利用では、当館の利用が優先され館内は飲食禁止のため、全ての要望に応えることができない。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
8	<p>H30.4～H31.3 末 (小学校全体合計) 利用回数 104 回、貸出冊数 1,788 冊 (かつやま子どもの村小中学校合計) 利用回数 88 回、貸出冊数 1,106 冊 (福井県立奥越特別支援学校合計) 利用回数 32 回、貸出冊数 118 冊</p> <p>4. はたや記念館ゆめおーれ勝山との連携 お互いの広報紙(図書館側:「図書館からのお知らせ」、ゆめおーれ側:月間行事予定のチラシなど)を施設内に貼り、行事等の周知を図っている。また、ゆめおーれ勝山からの申請に応じ、イベント時の控室として図書館内一室の提供等も行った。 また、「幕末明治福井 150 年博」展示を、ゆめおーれ勝山と連携して開催した。 「女性教員のパイオニア in 勝山・谷澤たま」(H30.10.27～H30.12.26) 今後も相互の利用促進を図り、協力し合っていく。</p>	4	
9	<p>白山平泉寺歴史探遊館まほろばの誘客増および継続的な白山平泉寺旧境内の保護・整備</p> <p>1. まほろば来館者年間 3 万 6 千人達成へ向けた誘客増(実際 45,049 人) 連続講座や白山平泉寺発掘 30 周年記念シンポジウム、4 館連携、白山平泉寺サポーターズクラブとの連携により、来館者の目標を約 9 千人上回ることができた。</p> <p>2. 白山平泉寺旧境内の整備 台風直後に平泉寺発掘現場や見学路を見回りし、倒木の処理や清掃を行い、見学可能な状態にした。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 平泉寺に関する課題解決のため、白山神社と平泉寺区、平泉寺指定管理者と商工観光課を含めた連携協議が必要。
10	<p>世界遺産登録の推進</p> <p>1. 白山平泉寺発掘調査開始 30 周年記念事業 ①平泉寺発掘 30 周年を記念した平泉寺シンポジウムを 7 月 8 日に開催し、600 名の参加があった。</p> <p>2. 日本遺産への再挑戦 第 5 回目となる提案は、福井県から共同で提案してほしいとの要望があり、平成 31 年 1 月末に「400 年の歴史の扉を開ける旅 ～石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井」というテーマで、福井県・福井市・勝山市が文化庁へ提出。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 現在、白山の世界遺産への取り組みは、石川県や岐阜県において休止状態であるため、福井県が主導権を握り、進めていく必要がある。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
10	<p>3. 白山の世界遺産状況確認</p> <p>①白山 1300 年歴史遺産連絡協議会を 5/29 に開催し、大野市他 3 県 11 市町が広域的な連携のもと PR 活動を今後とも行う事とした。</p> <p>②平泉寺と一乗谷朝倉氏遺跡を主題に、ストーリーを深めていくため、8/17 県への重要要望活動を行い、県主導により積極的な歴史遺産の活用と PR を行うよう要望した。</p>	4	
11	<p>歴史遺産の保護、保存、活用の推進</p> <p>1. 平泉寺出土遺物の整理と調査成果の公表 平成 31 年度の発掘調査報告書（遺物編）の刊行に向けた作業を行った。</p> <p>2. 文化財の保護・調査に関する取り組み ①旧中尾発電所第 1 号発電機は、ゆめおれ広場に設置することができた。 ②村岡山城跡と国泰寺文書 3 点を市の文化財に指定した。</p> <p>3. 勝山の歴史の紹介と調査研究 左義長の県内での位置付けを明確にするため、県内の主要な左義長を調査した。</p> <p>4. 県指定文化財三室遺跡の保存、活用の推進 ①三室山史跡公園トイレ建設については、話を前に進めることができなかった。 ②「縄文遺跡等資料室（遅羽公民館 2 階）」の見学者数は約 300 人であった。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・村岡山城の文化財指定は、頂上のみなので、追加指定を進める必要がある。 ・遅羽公民館 2 階の縄文遺跡等資料室の来館者に伸びがなく、市内の観光施設も含めて PR していく必要がある
12	<p>国重要文化財旧木下家住宅の修繕と管理、活用</p> <p>1. 組立工事（国庫補助）の円滑な実施と工事の完成 4 か年にまたがった保存修理工事は、平成 30 年 10 月末に完了した。</p> <p>2. 防火設備、便益施設（国庫補助）の実施設計及び工事の完成 防災設備、便益施設工事は平成 31 年 1 月末に完成した。</p> <p>3. 旧木下家住宅の管理・活用に向けた骨子づくり ①平成 31 年 4 月の旧木下家住宅活用保存会立ち上げについて地元と協議。 ②設置及び管理に関する条例と施行規則を定めた。 ③開館に必要な備品や消耗品を準備した。 ④工事期間中の一般公開や、各地区や市民団体等の見学依頼に対応した。</p>	5	

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
13	勝山城博物館との連携強化	4	<ul style="list-style-type: none"> 共催展の来館者増を目指し、さらなる工夫が必要。
	1. 勝山城博物館との連携共催展の開催 ①第5回共催展「重要文化財 旧木下家住宅大解剖」の入館者数は4,022人。 9月の天候不順で来館者が大きく落ち込み、目標には千人届かなかった。 ②4/30に下袋田区から寄贈された左義長櫓を勝山城博物館2階に設置し、常設展示とした。 2. 勝山城博物館の博物館機能（保管庫、燻蒸庫）の活用 湿度や温度管理が必要な重要な資料については、勝山城博物館の特別収蔵庫で保管し、一括で保管が必要な資料については、一般収蔵庫での保管ができた。		
14	自然体験学習・ジオパーク学習の推進	4	<ul style="list-style-type: none"> 昨年より事業数を減らしたが、各事業ごとの参加人数は増加している。事業数を増やすのではなく、より魅力のある内容を検討し、参加人数の増加を図る。
	1. 3月末における参加者人数 1,405人 ・牛首街道キノコ観察ウォーク 10月27日（日） 参加者19名 ・春山探勝登山（取立山） 3月10日（日） 小雪中止		
15	競技スポーツと生涯スポーツの推進	4	<ul style="list-style-type: none"> 勝山恐竜クロカンマラソンの参加者が増加するよう、PRに努める。 今後、ランニングコースやトレーニングルームの利用者が増加することが見込まれる。利用について支障が出ないように検討が必要。
	1. 勝山恐竜クロカンマラソンの充実 参加者2,000人を目指したが、当日の参加者は1,335人を昨年を大きく下回った。理由としては国体開催のため、日程を変更したことが大きいと思われる。 2. 勝山市体育館ジオアリーナのトレーニングルーム及びランニングコースの利用促進 ・ランニングコースの利用者数 19,846人 ・トレーニングルームの利用者数 19,620人 いずれも目標に達した。 トレーニングルームの初心者講習会の受講者数 1,962人 （H28：946人 H29：565人 H30：451人） 3. 国体に向けた選手の強化と指導者の育成 中間取組状況のとおり実施できた。また、国体時にバドミントン競技と綱引競技の2競技で選手強化の結果が出た。		

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
16	<p>体育施設の整備・充実</p> <p>1. 既存体育施設の再配置、再整備 <ul style="list-style-type: none"> ・旧武道場の解体工事は終了 ・長山ナイター照明施設は、建設課の整備事業で修繕を行った。 </p> <p>2. 勝山市体育館「ジオアリーナ」の管理体制は国体終了後も市の直接管理とし、必要な人員配置を整えた。</p> <p>3. B&G勝山海洋センター利用の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度のセンター評価は「特A」となる。 </p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度に勤労者体育館の解体工事を予定していることから跡地の利用計画について早急に検討が必要。
	<p>平成30年国民体育大会の開催</p> <p>1. プレ大会の反省点を踏まえ、国民体育大会及び障害者スポーツ大会の準備を進めた。</p> <p>2. 花いっぱい運動や道路環境美化活動、炬火イベントなどを通して、市民に国体・大会への参画を促すとともに、おもてなしの心の醸成、大会開催への機運を高めることができた。</p> <p>3. 国体・大会の報告書を作成した。</p>		

【参考】

1 教育委員会の構成 平成29年3月26日から平成30年3月25日まで

職名	氏名	教育委員任期
教育長	梅田 幸重	平成29年 3月26日から令和 2年 3月25日
教育長職務代理者	島田 さよ子	平成30年 6月20日から令和 4年 6月19日
委員	若林 正三郎	平成29年 3月26日から令和 3年 3月25日
委員	大久保 千恵	平成31年 4月 1日から令和 5年 3月31日
委員	今井 克己	平成27年12月24日から令和 元年12月23日

2 教育委員会の開催回数、内容

- (1) 開催回数 13回(定例12回、臨時1回)
(2) 内 容 次のとおり

- 平成30年4月定例教育委員会 平成30年4月5日(木)
- 議案第1号 平成30年度勝山市育英資金の貸与者について
 - 議案第2号 かつやまこども恐竜 LABO 育成事業補助金交付要綱の制定について
 - 議案第3号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について
 - ・平成30年度教育委員会各課重要課題と取組方針について
 - ・第32期勝山市スポーツ推進委員の委嘱について
 - ・3月定例市議会の報告について
 - ・外国語指導助手の配置について

- ・勝山市の文化芸術活動にかかるアンケート調査について
- ・勝山市民総合大学・平成30年度前期講座について
- ・勝山市さわやか大学・平成30年度講座について
- ・互助会会計の決算報告について

○ 平成30年5月定例教育委員会 平成30年5月10日（木）

議案第4号 勝山市立公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第5号 勝山市社会教育委員の委嘱について

議案第6号 勝山市社会教育関係団体の認定に関する要綱の一部改正について

議案第7号 勝山市立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則の一部改正について

議案第8号 勝山市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

議案第9号 勝山市林業者健康トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

議案第10号 勝山市体育協会活動事業費補助金交付要綱の一部改正について

議案第11号 平成30年度勝山市育英資金貸与者一覧表の一部訂正について

- ・「平成29年度 勝山市教育委員会の点検・評価」について
- ・白山平泉寺発掘30周年記念シンポジウム「白山平泉寺 よみがえる宗教都市」の開催、参加申込みについて
- ・炬火名の募集について

○ 平成30年6月定例教育委員会 平成30年5月31日（木）

議案第13号 平成30年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択に係る決議について

- ・「平成29年度 勝山市教育委員会の点検・評価」について
- ・「平成30年度 勝山市教育委員会の点検・評価」について
- ・勝山市幼稚園統合計画（案）について

○ 平成30年7月定例教育委員会 平成30年7月5日（木）

議案第14号 勝山市文化財補助金等交付要綱の一部改正について

- ・「平成29年度 勝山市教育委員会の点検・評価」について
- ・「平成30年度 勝山市教育委員会の点検・評価」について

- ・ 6月定例議会市議会の報告について
- ・ 幼稚園統合計画（案）について
- ・ 第2回中学校再編検討委員会（資料説明）
- ・ 平成30年度 勝山市ハワイ青少年交流事業参加者募集について
- ・ 一流の音楽家による「ふるさと芸術文化授業」・「子どものためのミニコンサート」について
- ・ 勝山市史編さん審議会委員等の委嘱について（4件）
- ・ 勝山城博物館勝山市連携第5回共催展「重要文化財木下家住宅大解剖」について

- 平成30年8月定例教育委員会 平成30年8月9日（木）
議案第15号 勝山市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
議案第16号 平成31年度使用教科用図書の採択について
 - ・ 勝山市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
 - ・ 勝山市教育委員会表彰審査会委員の委嘱について
 - ・ 幼稚園統合計画（案）について
 - ・ 中学校再編検討委員会（第2回）協議経過
 - ・ 勝山市青少年健全育成推進大会の開催について
 - ・ 「ウォーターサバイバルゲーム&BBQで夏休み」について
 - ・ 勝山市炬火イベントについて
- 平成30年9月定例教育委員会 平成30年9月13日（木）
議案第17号 幼稚園統合計画について
 - ・ 全国学力・学習状況調査の結果公表について
 - ・ 中学校再編検討委員会（第3回）協議経過について
 - ・ 勝山市文化財保護審議会委員の委嘱について
 - ・ 重文旧木下家住宅 組立工事請負契約の変更について
 - ・ 第64回勝山市民体育大会相撲競技会（兼）第50回勝山市地区対抗相撲大会の開催につ

- 平成30年10月定例教育委員会 平成30年10月11日（木）
議案第18号 勝山市教育委員会表彰被表彰者の決定について
 - ・ 9月定例議会の報告について
 - ・ 第54回勝山市民総合文化祭について
 - ・ 平成30年度勝山市総合大学後期受講生の募集について
 - ・ 町民運動会について
 - ・ 皇太子殿下及び高円妃殿下ご来訪について
 - ・ 福井しあわせ元気大会2018バスケットボール（知）競技会の開催について

- 平成30年11月定例教育委員会 平成30年11月3日（土）
 - ・ 平成30年度教育委員会の点検・評価（中間）について
 - ・ 中学校再編検討委員会（第4回）協議経過について
 - ・ 人権講演会について
 - ・ 「二胡とギターでにこにこコンサート」の開催について

- 平成30年12月定例教育委員会 平成30年11月29日（木）
議案第19号 勝山市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の制定について
議案第20号 勝山市育英資金奨学金返還減免の基準を定める要綱の一部改正について
 - ・ 中学生のプール授業について
 - ・ 平成31年成人式について
 - ・ 北谷道具博物館（旧谷郵便局）及び谷集会場の登録有形文化財（建造物）の登録について
 - ・ 国体・障スポ開催事業概況報告

- 平成31年1月定例教育委員会 平成31年1月10日（木）
議案第21号 勝山市育英資金奨学金返還減免の基準を定める要綱の一部改正について
議案第22号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について
 - ・ 12月定例市議会の報告について
 - ・ 中学校再編検討委員会（第5回）の概要について

- ・平成31年度公民館職員・小学校調理師の募集概要について
- ・平成31年度以降の北谷公民館の指定管理について
- ・少年少女スキー大会について
- ・ナイタークロスカントリースキー教室について
- ・「ニュースポーツ祭」In かつやまについて

○ 平成31年2月定例教育委員会 平成31年2月7日（木）

- 議案第23号 勝山市立幼稚園管理規則等の一部改正について
- 議案第24号 勝山市立中部幼稚園運営規程の廃止について
- 議案第25号 勝山市立幼稚園のあり方検討懇話会開催要綱の廃止について
- 議案第26号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳へ指導者の新規登録について
- 議案第27号 勝山市公民館管理規則の一部改正について
- 議案第28号 勝山市指定文化財の指定について
 - ・平成30年度卒業証書授与式の参列・告辞について
 - ・勝山市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について
 - ・勝山市幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正について
 - ・平成31年度の日本遺産申請について
 - ・生涯学習センター友楽喜の今後の計画について

○ 平成31年3月定例教育委員会 平成31年2月26日（火）

- 議案第29号 勝山市社会教育関係団体の認定更新について
- 議案第30号 勝山市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
- 議案第31号 勝山市いじめ防止基本方針の改定について
 - ・平成31年度教育予算（500万円以上工事含む）について
 - ・勝山市青少年健全育成計画「かつやまっ子応援プラン」の中間実施状況報告と今後の取組みについて
 - ・勝山市子どものための教育・保育に係る利用者負担額に関する条例施行規則の一部改正について
 - ・勝山市立北谷町コミュニティセンター及び勝山市立北谷公民館の指定管理者の指定について
 - ・勝山市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

・第15回勝山恐竜クロカンマラソン開催について

- 平成31年3月臨時教育委員会 平成31年3月25日（月）
- 議案第32号 勝山市教育員会事務局組織規則の一部改正について
 - 議案第33号 勝山市教育員会教育長に対する事務委任規則の一部改正について
 - 議案第34号 勝山市教育委員会事務局処務規則の一部改正について
 - 議案第35号 勝山市立図書館管理規則の一部改正について
 - 議案第36号 勝山市生涯学習人材バンク事業実施要綱の一部改正について
 - 議案第37号 国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会事業補助金交付要綱の廃止について
 - 議案第38号 教育部長、スポーツ局長、課長、幼稚園長、公民館長の任免について

3 その他

(1) 勝山市教育委員会表彰式

実施日 平成30年11月3日（土） 勝山市教育会館
概要 受賞者 39名 6団体

(2) 平成31年勝山市成人式

実施日 平成31年1月13日（日） 勝山市民会館
概要 新成人 223名